

# 学修時間・学修実態及び 授業評価に関する報告書 (2024年度春学期)

2024年度 清泉女学院短期大学 IR室

2024/8/5

# 目的

- 清泉女学院短期大学の2024年度春学期授業評価アンケートを分析すること
  - 学科別，学年別、授業形態別に分析
    - 共通教育（略称：共通）
    - 幼児教育科（略称：幼教）
    - 国際コミュニケーション科（略称：国際） とする
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程編成に関する全学的方針の検討への基礎データとして活用すること

# 調査概要

- 調査時期：2024年7月
- 調査対象：
  - 清泉女学院短期大学生を対象とした。
  - 分析対象は、2024年度春学期に開講した科目のうち108科目※。総回答数2,276件。

表1 学年別・学科別・授業形態別の分析科目数

学科	配当年次	講義	演習	実技・実習	小計
共通	1・2年	8			8
	1年	3	2	2	7
幼教	1・2年		1		1
	1年	7	20	1	28
	2年	2	17		19
国際	1年	6	16	1	23
	2年	7	15		22
総計					108

※アンケート実施科目のみ掲載（実際の開講科目数とは異なる）

# 調査項目①（授業時間外の学修時間）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業時間外の学修時間（予習・復習）】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- **問** あなたは、毎日平均して、どのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？
  - 1：0時間
  - 2：30分程度
  - 3：1時間程度
  - 4：1時間半程度
  - 5：2時間以上
- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1：「0分」、2：「30分」等、学修時間の推計量として用いた。

# 調査項目①の記述統計

- 短大全体における学修時間の平均値は、推定51分であった。昨年同期（47分）と比較するとやや増加した。幼児教育科は45分であったが昨年度期（47分）とほぼ同値であり、学年別では1年次が大幅に伸びた（41分→49分）
- ※ $\sigma$ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表2 学科別・授業形態別の授業1回当たりの予習・復習時間の推計値（分）

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 ( $\sigma$ )	科目数						
共通	1・2年	40 (24)	8					40 (24)	8
	1年	26 (4)	3	58 (2)	2	37 (2)	2	38 (13)	7
	小計	36 (22)	11	58 (2)	2	37 (2)	2	39 (20)	15
幼教	1・2年			90 ( )	1			90 ( )	1
	1年	51 (19)	7	48 (17)	20	48 ( )	1	49 (17)	28
	2年	30 (5)	2	38 (10)	17			37 (10)	19
	小計	46 (19)	9	45 (17)	38	48 ( )	1	45 (17)	48
国際	1年	55 (17)	6	63 (17)	16	41 ( )	1	60 (17)	23
	2年	59 (22)	7	68 (24)	15			65 (24)	22
	小計	57 (20)	13	65 (20)	31	41 ( )	1	62 (21)	45
総計		47 (22)	33	54 (21)	71	41 (5)	4	51 (21)	108

# 調査項目②（授業満足度）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業満足度】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- **問** この授業全体を振り返り、満足できる内容であったと思いますか？
  - 1：そう思わない
  - 2：あまり、そう思わない
  - 3：どちらともいえない
  - 4：やや、そう思う
  - 5：そう思う

# 調査項目②の記述統計

- 短大全体における授業満足度の平均値は、4.68であった。昨年同期の4.72と比べるとやや低下した。幼児教育科はほぼ昨年度と同値であるが1年次が増加し2年次が低下した。
- 全学科・授業形態別も平均値が4.0以上となり、全体的に良好な結果となった。
- ※σ（標準偏差：ばらつき度合）を示す

表3 学科別・授業形態別の授業満足度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均	(σ) 科目数	平均	(σ) 科目数	平均	(σ) 科目数	平均	(σ) 科目数
共通	1・2年	4.70	(.20) 8					4.70	(.20) 8
	1年	4.32	(.06) 3	4.65	(.15) 2	4.91	(.05) 2	4.59	(.26) 7
	小計	4.60	(.24) 11	4.65	(.15) 2	4.91	(.05) 2	4.65	(.24) 15
幼教	1・2年			4.20	(.00) 1			4.20	(.00) 1
	1年	4.73	(.14) 7	4.81	(.16) 20	4.74	(.00) 1	4.79	(.15) 28
	2年	4.51	(.08) 2	4.61	(.20) 17			4.60	(.19) 19
	小計	4.68	(.16) 9	4.70	(.22) 38	4.74	(.00) 1	4.70	(.20) 48
国際	1年	4.73	(.29) 6	4.57	(.29) 16	4.88	(.00) 1	4.62	(.30) 23
	2年	4.51	(.31) 7	4.80	(.31) 15			4.71	(.34) 22
	小計	4.61	(.32) 13	4.68	(.32) 31	4.88	(.00) 1	4.67	(.32) 45
総計		4.63	(.26) 33	4.69	(.27) 71	4.86	(.08) 4	4.68	(.26) 108

# 調査項目③（学習成果の到達目標）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【科目の学習成果の到達目標に対する認識】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- **問** この授業は、学習成果の到達目標に対する知識・技能の習得に役立ったと思いますか？
  - 1：そう思わない
  - 2：あまり、そう思わない
  - 3：どちらともいえない
  - 4：やや、そう思う
  - 5：そう思う

# 調査項目③の記述統計

- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、4.73(昨年同期:4.69)であった。数値的に若干の向上が見られた。幼児教育科は昨年度と同値であるが、1年次が増加し2年次が低下した。
- 全学科・授業形態別は平均値が4.0以上となり、全体的に良好な結果となった。
- ※ $\sigma$ (標準偏差:ばらつき度合)を示す

表4 学科別・授業形態別の学習成果目標に対する目標到達度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 ( $\sigma$ )	科目数						
共通	1・2年	4.75 (.14)	8					4.75 (.14)	8
	1年	4.47 (.06)	3	4.92 (.08)	2	4.93 (.01)	2	4.73 (.23)	7
	小計	4.67 (.18)	11	4.92 (.08)	2	4.93 (.01)	2	4.74 (.19)	15
幼教	1・2年			4.20 (.00)	1			4.20 (.00)	1
	1年	4.72 (.12)	7	4.83 (.13)	20	4.80 (.00)	1	4.80 (.13)	28
	2年	4.59 (.06)	2	4.67 (.19)	17			4.66 (.18)	19
	小計	4.69 (.12)	9	4.74 (.20)	38	4.80 (.00)	1	4.74 (.18)	48
国際	1年	4.72 (.15)	6	4.60 (.29)	16	4.75 (.00)	1	4.64 (.26)	23
	2年	4.67 (.23)	7	4.89 (.18)	15			4.82 (.22)	22
	小計	4.70 (.20)	13	4.74 (.28)	31	4.75 (.00)	1	4.73 (.26)	45
総計		4.69 (.17)	33	4.75 (.24)	71	4.85 (.08)	4	4.73 (.22)	108

## 調査項目④：共通教育科目の学習成果（詳細）

- 短大共通教育の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、4.74(昨年同期:4.63)であった。数値的に向上がみられる。
- 全てのアンケート項目で平均値が4.0以上となり、全体的には良好な結果となった。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表5 共通教育科目の学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
1 知識・教養	12	37分	4.52	4.63	4.78	4.51	4.65	4.67	4.52	4.58	4.70
2 視野の広さ	7	41分	4.59	4.72	4.79	4.58	4.70	4.71	4.53	4.68	4.74
3 豊かな人間性	4	23分	4.33	4.38	4.70	4.29	4.62	4.60	4.38	4.47	4.57
4 コミュニケーション能力	4	29分	4.81	4.91	4.94	4.85	4.76	4.83	4.85	4.77	4.91
5 健康・体力	2	16分	4.89	4.95	4.95	4.95	4.81	4.86	4.91	4.91	4.93
	全体	33分	4.58	4.68	4.80	4.57	4.70	4.71	4.58	4.65	4.74

## 調査項目⑤：幼児教育科専門科目の学習成果（詳細）

- 幼児教育科の学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値は、4.74(昨年:4.72)であった。昨年同時期と若干の上昇がみられる。11項目中、5項目で上昇、5項目で低下がみられた。
- 全アンケート項目に対して平均値が4.0以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。  
※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表6 幼児教育科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
① Ila 保育の基礎的教養（現代的教養・社会的教養・倫理観）の習得	8	46分	4.74	4.80	4.82	4.71	4.67	4.71	4.73	4.76	4.74
② I Ib 保育の原理・目的の理解	6	56分	4.61	4.63	4.65	4.48	4.58	4.54	4.55	4.60	4.66
③ I Ic 保育及び支援の対象の理解	12	41分	4.56	4.58	4.70	4.49	4.54	4.57	4.55	4.61	4.64
④ I Id 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解	20	41分	4.60	4.62	4.69	4.54	4.57	4.59	4.57	4.63	4.69
⑤ I Ie 保育に関する基礎的技能の獲得	20	50分	4.77	4.78	4.80	4.71	4.72	4.68	4.69	4.74	4.77
⑥ I If a～eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得	14	47分	4.58	4.65	4.67	4.52	4.58	4.54	4.53	4.57	4.66
⑦ III 保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の修得	9	48分	4.73	4.74	4.79	4.67	4.68	4.66	4.73	4.68	4.72
⑧ IV 保育実践の表現力・創造力・感性の基礎の修得	7	41分	4.73	4.74	4.82	4.74	4.78	4.80	4.78	4.77	4.83
⑨ V 保育実践の主体性や自己学習能力の基礎の修得	1	43分	4.74	4.70	4.66	4.73	4.11	4.67	4.76	4.83	4.60
⑩ VIa 保育者の体験力の基礎の修得	5	35分	4.69	4.66	4.75	4.72	4.58	4.73	4.77	4.78	4.75
⑪ VIb 保育者の人間関係力、他者との協働性の基礎の修得	5	36分	4.89	4.88	4.88	4.87	4.68	4.85	4.88	4.93	4.88
全体		45分	4.68	4.72	4.76	4.64	4.66	4.66	4.67	4.70	4.74

## 調査項目⑥：国際コミュニケーション科専門科目の学習成果（詳細）

- 国際コミュニケーション科の、4.73(昨年1年次カリキュラム:4.78)であり、昨年同期とほぼ同じであった。
- 全アンケート項目に対して平均値が4.5以上であり、全体的に良好な学習成果であったと考えられる。
- ※平均値の計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表7 国際コミュニケーション科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
社会人基礎力・キャリア形成力	24	64分	4.68	4.73	4.72	4.59	4.58	4.67	4.63	4.66	4.73
基礎的知識・学修入札	24	61分	4.61	4.70	4.66	4.54	4.61	4.62	4.61	4.58	4.62
①各分野の応用力・専門性	18	64分	4.77	4.77	4.82	4.64	4.65	4.77	4.71	4.73	4.84
②有効な資格取得	7	71分	4.56	4.68	4.76	4.45	4.65	4.63	4.53	4.66	4.65
清泉スピリット											
①問題を発見する力	17	62分	4.75	4.79	4.78	4.73	4.66	4.77	4.77	4.74	4.81
②考える力・思考力	26	63分	4.67	4.75	4.74	4.62	4.63	4.70	4.65	4.67	4.74
③工夫する力	12	63分	4.73	4.80	4.84	4.69	4.64	4.79	4.77	4.78	4.85
④コミュニケーション力・表現力	25	64分	4.69	4.77	4.79	4.61	4.64	4.76	4.71	4.70	4.76
⑤行動する力	10	65分	4.82	4.80	4.82	4.69	4.64	4.81	4.83	4.77	4.86
全体		62分	4.68	4.74	4.75	4.60	4.64	4.70	4.67	4.67	4.73

# まとめ

- 短大全体における学修時間の平均値は、推定51分であった。昨年同期の47分と比較するとやや増加した。
- 短大全体における授業満足度の平均値は、4.68であり、昨年同期の4.72と比較するとやや低下したが、全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、4.73(昨年同期:4.69)であり、数値的に若干の向上が見られた。幼児教育科、国際コミュニケーション科ともに学科平均が4.5以上であり、全体的に良好な状態であったと考えられる。
- 昨年と比較すると概ね同程度の数値結果となった。